

第 8 回

ひろしま災害後のこころの支援勉強会 公開セミナー

今、私たちが体験していることは
～ 支援者として大切にしたいこころの視点～

日 時

2022年2月13日(日)

時 間

14:00-16:30

参加費
無料

開催方法

Zoom (オンライン) による開催

対象者

教育関係者・保育士・医療関係者・保健師・支援員・大学院生など、
人を支援する活動をされている方 (守秘義務を遵守できる方)

新型コロナウイルス感染症の流行は一瞬落ち着きを見せたものの、オミクロン株により再び急激なスピードで感染拡大しています。そのような中、日本各地では、地震や大雪、東日本大震災を思い起させるような津波の発生など、自然災害に繋がるような現象が頻発しています。

このように想像を超えるようなことが次々と起きるなかで、私たちは、思い考えたりする間が持てず、心も体も硬くなったり、不安になったかと思うと楽観的になってみたりするシーソーのような気持ちの揺れ動きに、こころが疲れてはいないでしょうか。

今回は、このような状況だからこそ、私たちが今体験していることはどのようなことなのかを考える機会をもち、何を考えていくことが必要なかを提案する、という企画を考えました。

皆様とつながり、地に足がついた支援について考える場になればと思います。
ぜひ、ご参加ください。

主催：ひろしま災害後のこころの支援勉強会

お申込みはこちら



参加希望の方は ①お名前 ②ご所属 ③職種
④メールアドレス ⑤ご連絡先を明記し、申
込みフォーム・メールまたはFAXでお申込み
ください【2月9日(水)締切】

【HP】 <http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/studygroup.html>

〒731-0103

広島市安佐南区緑井1丁目27-4-104 メイプル内
ひろしま災害後のこころの支援勉強会 事務局

E-mail h.saigaisien@gmail.com

F A X 082-876-4332

第8回公開セミナー

内容

- ・「繰り返し起こる自然災害への対応－こころと身体から－」
岡田幸彦（トポスの森代表 臨床心理士） 宮川悦子 久保康浩
- ・「長期化する新型コロナウイルスの感染状況で、コミュニケーションについて考える」
湊崎和範（広島西医療センター 小児科医） 岡田緑 大原一祐
- ・「支援者のこころの健康～感情の理解と付き合い方～」
杉原太郎（杉原心理相談室 臨床心理士） 出先早紀 岡崎彩
- ・「『あそび』『ゆとり』『余裕』の大切さ」
井上真一（瀬野川病院 精神科医） 本重朱美 井上真実
- ・講師による意見交換・まとめ
司会 橋本智恵美（杉原心理相談室代表 臨床心理士）

これまでの活動

●公開セミナー

第1回 2018年7月28日

「災害直後の心理的反応」他

第2回 2018年10月17日

「災害から3か月後の心身の状態について」他

第3回 2019年5月18日

「西日本豪雨災害から1年を向かえるにあたって～支援者に必要な姿勢や視点とは～」

第4回 2019年12月21日

「繰り返される自然災害による、こころ・からだへの影響」

第5回 2020年5月24日

「新型コロナウイルス拡大によるこころの影響とその対応 ～学校再開にむけて～」

第6回 2020年8月29日

「新型コロナウイルスによって今、何が起きているのか ～支援者として考えていきたいこと～」

第7回 2021年5月30日

「繰り返される災害によって何が起きているのか ～支援者に必要な姿勢や視点とは～」

*ホームページに資料を公開しております

資料の内容について詳しいことをお知りになりたい場合は、事務局までご連絡下さい
ホームページはこちら➡ <http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/sympo9.html>



●講師派遣 支援者向けの講師派遣などの活動も行っています

- ① 2018年12月25日 場所：坂町（教職員対象）
- ② 2019年1月31日 場所：福山市（保健師、保育士、養護教諭等行政機関対象）
- ③ 2019年6月13日 場所：安芸郡（教育委員会対象）
内容「災害から1年を迎えるにあたっての不安への対処」
- ④ 2019年7月30日 場所：竹原市（自殺対策ネットワーク会議委員対象）

【ひろしま災害後のこころの支援勉強会 実行委員会】

実行委員長：橋本智恵美

実行委員：井上真一 井上房美 井上真実 大原一祐 岡崎彩 岡田幸彦 岡田緑 久保康浩 五明舞子
出先早紀 杉原太郎 湊崎和範 宮川悦子 本重朱美